

「八潮市旧庁舎解体工事」 工事概要説明

工事概要

1 工事場所等

- (1) 所在地 埼玉県八潮市中央1丁目2 - 1地内
- (2) 工事対象延床面積 8,002.33m²

2 工事概要

- (1) 工事範囲【別図①】
旧市庁舎、付属施設
- (2) 工事内容
解体工事
 - ①既存建物及び屋外構造物等除去
 - ②杭撤去工事
 - ③埋戻し・整地工事
- (3) 施工監理者
株式会社協和コンサルタンツ
- (4) 施工業者
村本建設株式会社 埼玉営業所 現場代理人 木幡 幸司 (こばた こうじ)
現場事務所 (TEL : 048-954-9801)
- (5) 工事工期
 - 令和6年2月5日～令和7年9月30日 (予定)

3 工事上の対策等

下記事項を遵守して作業を行います。

(1) 作業日・作業時間

- ① 作業時間は、原則として午前8時から午後6時までとします。
騒音や振動が大きな作業は原則として午前8時30分から午後5時30分までとします。
- ② 日曜・祝日は、原則として作業を行いません。ただし、災害緊急措置等を要する場合は、作業を行うことがあります。
- ③ 重機の搬入・搬出に際して交通管理者の指導により、やむを得ず夜間又は早朝となる場合があります。
- ④ 週間作業スケジュールを出入口ゲート付近に設置する掲示板でお知らせします。



(2) 安全対策【別図②】

- ① 解体工事期間は、児童その他一般の方々が工事区域内に入らないように、安全柵（仮囲い）を工事区域の外周に設置します。
- ② 工事車両の出入口にはゲートを設置し、交通整理員を配置します。
- ③ 工事車両の通行がない時間帯はゲートを閉じます。また、夜間には施錠を行います。


(3) 工事車両に関する安全対策

- ① 工事車両の場内への入退については、【別図②】のように計画しております。また交通整理員を工事車両の出入口に配置して、交通事故の防止及び歩行者等の安全確保に努めます。
- ② 工事車両は、道路交通関係法規を厳守します。また、大型車両には工事関係車両プレート
の設置を徹底します。
- ③ 工事車両の駐車場は、工事区域内に確保します。
- ④ 工事車両のタイヤ等に付着した泥土等は、場外施設の汚損防止のため、敷地内で洗車等を行ないます。また、工事車両の出入口に接する道路については、適宜、清掃・散水を行います。

八潮市旧庁舎解体工事

工 事 車 両

村本建設株式会社



(4) 振動・騒音対策

- ① 工事の実施にあたっては、振動規制法、騒音規制法等の関連法令を遵守します。
また、建設機械は、国土交通省認定の低振動・低騒音型を使用して、振動、騒音の軽減に努めます。
- ② 建物の解体に際しては、建物の壁面に防音パネル等を設置して騒音対策を行います。
- ③ 敷地東側の境界付近において、振動、騒音の測定器設置し、工事エリアの外から騒音・振動値が確認できるようにします。
【別図②】

(5) アスベスト対策

- ① 工事着手前に、アスベスト含有の有無について調査を行い確認することとしています。
- ② アスベストの撤去につきましては、八潮市及び埼玉県、労働基準監督署と協議しその指導に基づくほか、「建築物の改修・解体に伴うアスベストによる大気汚染の防止について（環境省）」等の関係法令に従い、適正に処理いたします。

(6) 粉じんの飛散防止

- ① 工事中は、適宜散水、清掃を行い粉じんの飛散防止に努めます。
- ② 強風時には、粉じんを伴う解体作業を原則中止します。

(7) 災害防止

災害防止については、防災組織の確立並びに消火器類を常備し、災害の防止に努めます。

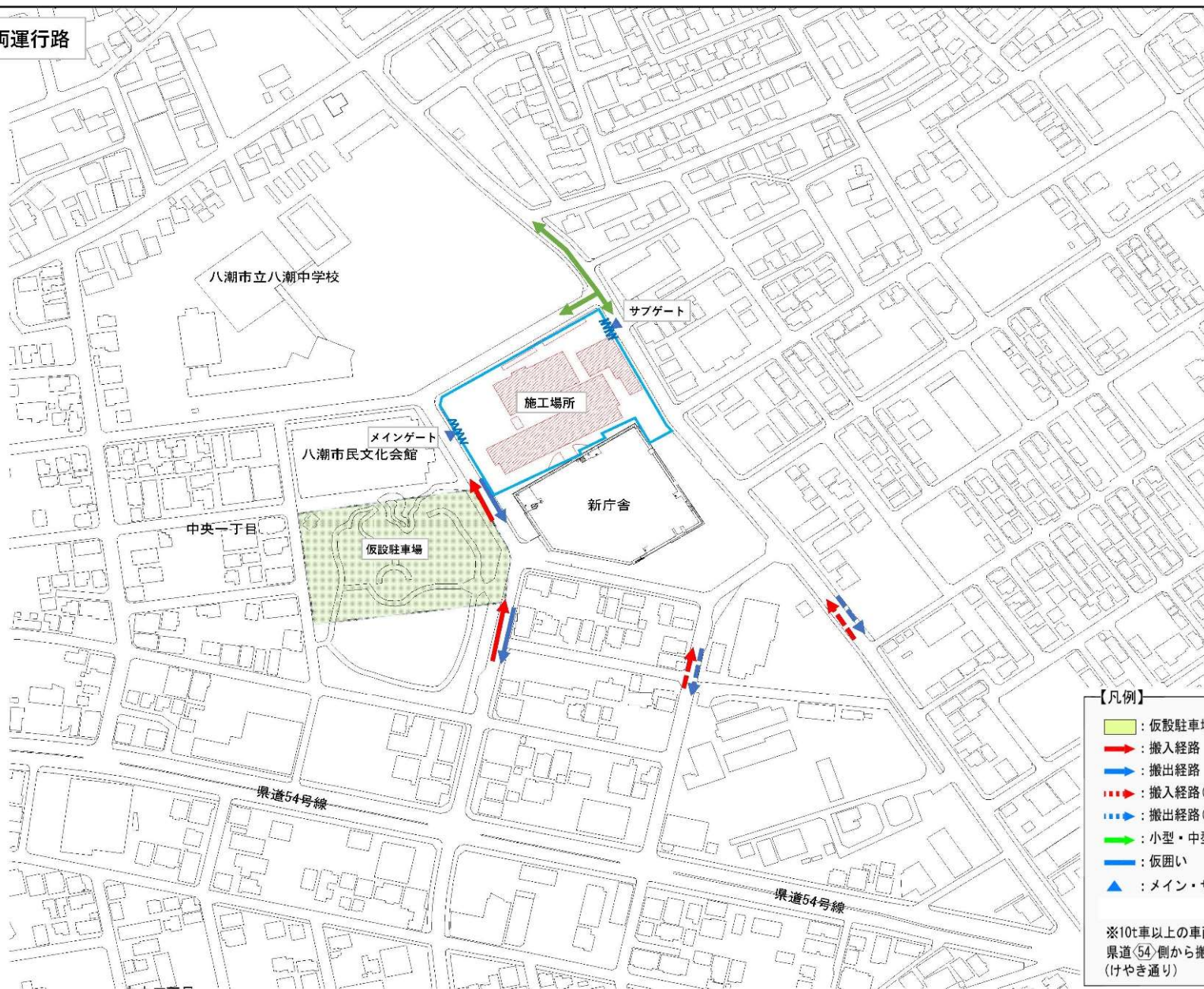
万一、災害及び事故等が発生した場合は、速やかに、誠意を持って解決します。

(8) 施工管理員

- ① 工事期間中は、施工管理員を配置します。
- ② 工事災害及び工事公害の発生防止を図るため、厳正な工事監理を行います。
- ③ 作業員の安全対策・風紀衛生等の維持について、指導監督を徹底します。なお、敷地内には、作業員の宿舎は設置しません。

別図①

工事車両運行路



- 【凡例】
- : 仮設駐車場
 - : 搬入経路
 - : 搬出経路
 - : 搬入経路(メインゲート閉鎖時)
 - : 搬出経路(メインゲート閉鎖時)
 - : 小型・中型工事車両搬出入経路
 - : 仮囲い
 - : メイン・サブゲート
- ※10t以上の車両は全て
県道(54)側から搬出入します。
(けやき通り)

別図②

工事車両運行路

八潮中学校



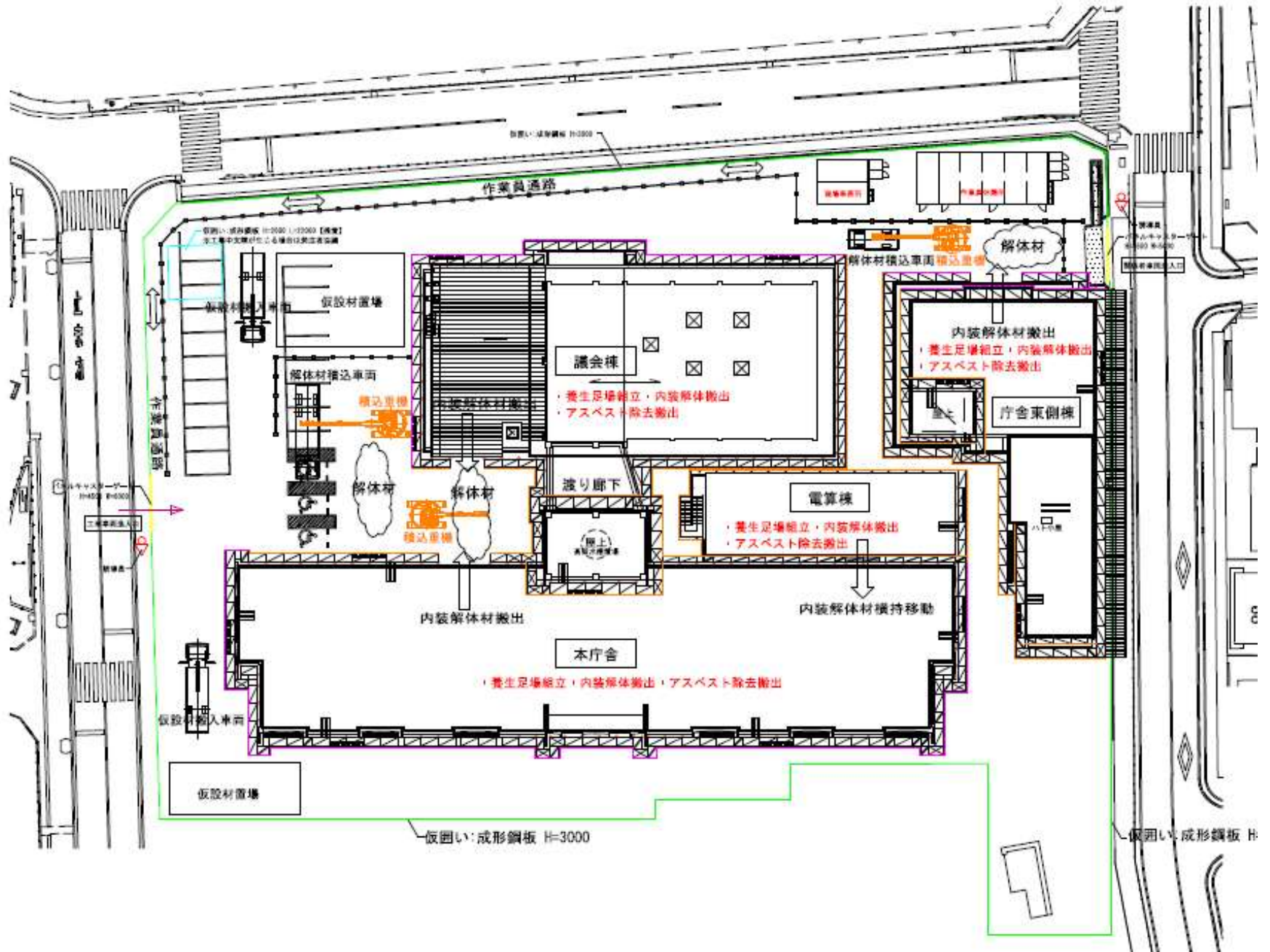
振動騒音計設置例

【凡例】

- : 仮設駐車場
- : 搬入経路
- : 搬出経路
- : 搬入経路(メインゲート閉鎖時)
- : 搬出経路(メインゲート閉鎖時)
- : 小型・中型工事車両搬出入経路
- : 仮囲い
- : メイン・サブゲート
- : 交通誘導員

※10t車以上の車両は全て
県道54側から搬出入します。
(けやき通り)

総合仮設平面図（参考）



STEP : 1

建物の解体に際しては、建物の壁面に防音パネル等を設置して騒音対策を行います。

足場組立施工例



足場組立状況



防音パネル設置完了

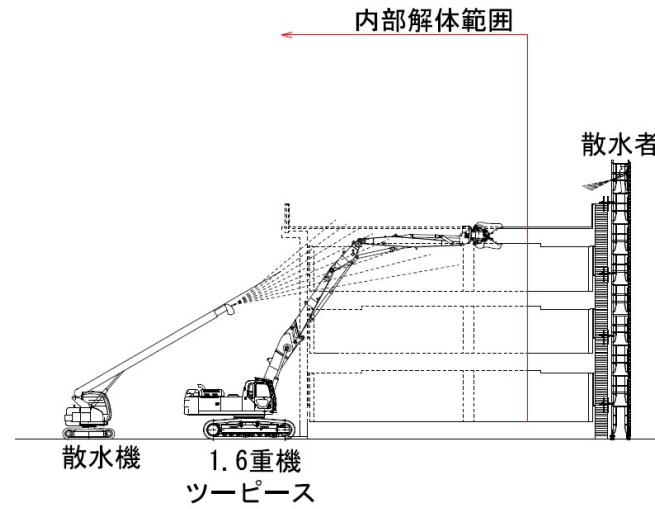
STEP : 2

内装解体施工例



STEP : 3

躯体解体施工例



STEP : 4

杭引き抜き工法

1. 埋設杭の頭出し

引抜き杭の頭部を0.5m位までバックホウで掘削する
杭頭部に露出している鉄筋は、事前にガス溶断またはカッターで切断しておく

2. ケーシングセット

重機組立後、敷鉄板等を配置し、転倒に十分注意してケーシングをセットする

3. ケーシング掘削

ケーシングを回転させながら杭先端まで挿入する

4. ケーシング引き上げ

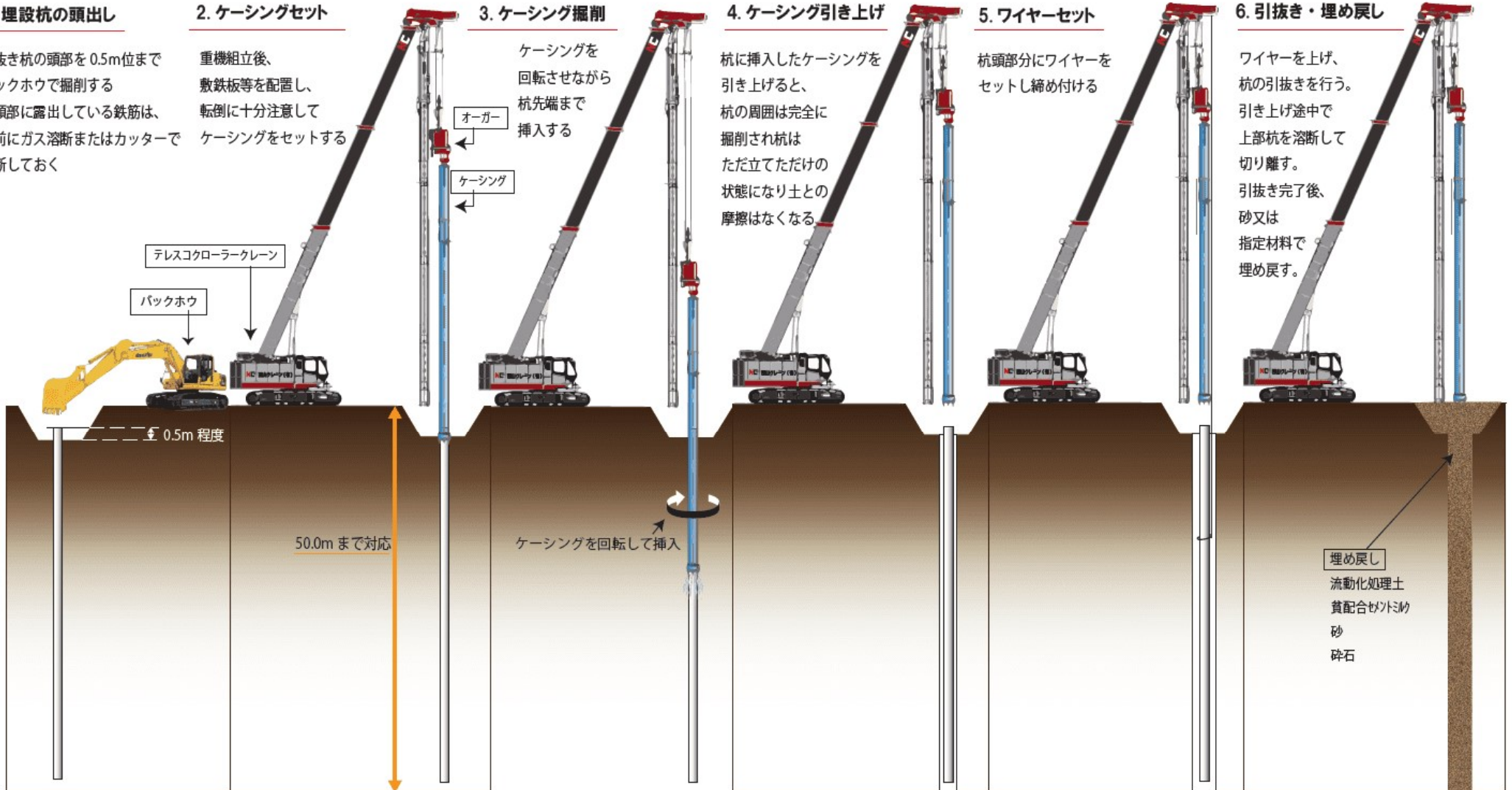
杭に挿入したケーシングを引き上げると、杭の周囲は完全に掘削され杭はただ立っただけの状態になり土との摩擦はなくなる

5. ワイヤースettings

杭頭部分にワイヤーをセットし締め付ける

6. 引抜き・埋め戻し

ワイヤーを上げ、杭の引抜きを行う。
引き上げ途中で上部杭を溶断して切り離す。
引抜き完了後、砂又は指定材料で埋め戻す。



杭頭の深さによっては事前に山留めを行う

杭径・杭種によりケーシングと重機を選定を行う

深度、地盤の堅さによりウォータージェット又はコンプレッサーを併用する

杭の自重により合番クレーンを併用する

埋め戻し
流動化処理土
貧配合セメント
砂
砕石

STEP : 4

杭引抜き工法施工例



杭引抜き後場内を整地し、
次の工事に引渡します。

